

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 176 号 2012. 12. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 風邪こじれたら みかんジュース

東京都 瀬野まゆみ



9月、友人に自然農法のみかんジュースの不思議をお話し、「何かあったときにぜひ飲んでみて」と、ホットニュースと一緒に渡しました。

その後、その友人のご主人が風邪で一週間も治らず、何もおいしくないとのこと。私は「自然卵と自然米を送るね」との返事をして、みかんジュースをお渡ししたことをすっかり忘れていました。数日後、「もったいなかったけど、前にももらったみかんジュースを飲ませてみたら、食欲が出てきて、熱も下がり、会社に復帰できたの。すごいわね！このみかんジュース、飲んでというより食べているというくらい濃厚でおいしかった。本当に貴重なジュース、ありがとうね」と電話がありました。

自然農法の食物に言葉はいらないんだと、改めて自然農法のパワーを私自身が見せられました。何があってもいいように、みかんジュースは一家に一本は置いておかれると安心だと思います。

## 堀さん米 食味分析鑑定コンクール 祝 金賞

11月22、23日に長野県木島平村で、米のおいしさを競う「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が開催され、きじま平自然農産の堀政則さんのお米が国際総合部門で金賞を受賞しました。以下、自然農法勉強会での堀さんのお話を紹介します。

今年から農業普及センターの担当者が変わり、初めて稲と土の調査をしてくれました。今までずっと調査して欲しいと思っていたので、うれしい今年のスタートとなりました。春先に田おこした土を分析、診断した結果、「絶妙なバランスで成り立っている飢餓状態」と言われました。土が飢餓状態なのに作物は出来るという、学理では説明できない結果です。また普及員から「食味コンクールに米を出してほしい」と言われ、自然農法の普及、また希望していた米の「第三者評価」にもなるので、出品することにしました。

国内外より集まった米 3915 検体から、二種類の機械による検査で 41 検体にしぼられ、それを 30 人の食味鑑定士が実際に食べて審査します。3 票入れれば金賞になるのですが、なんと 6 票も獲得することができました。「食味」は自然農法を持つ優位性の一部ですが、この受賞で、「その真価、確かな優位性が発揮されたひとつの証し」「先人の積み重ねてきた結果」を代表して見せていただいたと思います。この賞状と盾は TOREK が築き上げてきた真の自然農法に示されたものと思っています。



上段右から 2 人目が堀さん

また当日、パネルディスカッションがあり、ゲストの一人がこう語りました。「最近は何んでもかんでも食の安心安全と言うが、人が口にするものなんだから、安心安全で当たり前だ。我々はこれから人が健康になっていくものを作る責務がある。第一次産業として研究して取り組んでいこう」

今、この生産者に確かな答えは見えていませんが、まなざしはこちらに向いてきている、「時代はそこまできた」と感じ、この話が聞けたことは、この日の大きな収穫でした。そしてこの溝を埋めていくのが自分たちの役目で、今回その道筋を示していただけたのだと強く思いました。



12月7日 自然農法勉強会にて

## 頒布会きっかけで自然田に挑戦

静岡県 右原 徹



6月30日東中野の頒布会に初めて行き、皆様に製茶工場で作っているほうじ茶を飲んでいただきました。会場に来た方から「私はほうじ茶で命が救われたんです！」など生の声を聞き、驚きの連続でした。自分も田んぼをやっているの、展示してあったお米(ご飯)のビン実験を見たり、話を聞いたりすることができました。石川県から来ていた専業農家さんから「やってみるしかないよ」との声援をあとに帰りました。

さっそく、除草剤を春に一度使用していたが、5月に入れる肥料を忘れていた1反の田を無農薬無肥料にすることにし、その田から300メートルくらい離れたところにある2反5セの田を減農薬にしてみました。

何もやらない自然農法の田は稲が大きくなるのではと心配で毎日見に行きました。お茶は何もやらないで出来るのが当たり前になっている人が多い土地ですが、米は別です。しかし、すくすくとよく育ち、稲株もガラス質でしっかりしていました。収穫は5俵半で収量は少し減りましたが良い米でした。

減農薬のほうは田全体がカメムシにやられ、お米に黒い点々がついてしまいました。収穫は1反につき4俵半でした。昨年は8俵とれたところでした。

来年は1反の田をまた無農薬無肥料でやってみようと思いましたが、2反5セのほうの田は減農薬でなく、慣行農法でやって実験田として比較してみようと思っています。

## 自然農法の良さ訴える頒布会！

12月16日(日)、東中野会場での頒布会に行きました。この日は兵庫県の生産者、畑匡昭さんが来店していました。畑さんは94年に実験的に自然農法を始め、農業の大切さや喜びを感じるうちに、これしかないと思い、早期退職して専業になったそうです。木島平の堀さんとは、稲作交流会の懇親会でたまたま隣の席に座ったことから意気投合し、おつきあいが始まったそうです。

畑さん「近所付き合いのなくなった昨今、近所の方に声をかけて自然農法の良さを訴えていくというのが温かくていいですね。会場では係同士の連携がすごい。お客さんが好奇心を持って買ってくれているし、こうするとおいしいですよ、と係が提案しながら対応しているのが素晴らしい」



当日、駅前などでチラシをもらって来店された方も多く見られました。チラシを持っていくと試食用のお米3合がもらえるのですが、ファストフードの袋を持った中学生も、会場内にある調理された野菜を食べると「おいしい！」と驚きの声をあげていました。若い世代が自然農法の作物の良さに目覚めてくれたらいいと思いました。また今回も、数々の試食品とともに、自然米のおにぎり、味噌汁、フライドスイートポテトが人気で、食べた後の皆さんの笑顔が印象的でした。(編集部)

## お知らせ

自然農法頒布会 1月18日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~(売り切れ次第終了)

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

1月1日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- 長柄山自然農園 : 卵、丸鶏
- 飯塚農園 : みそ
- きじま平自然農産 : 白米、小豆、インゲン豆、干し柿
- 中島農園 : ネギ、ジャガイモ、ニンジン
- ジョリフィユ : 年賀ギフトセット、カスタードプリン、マドレーヌ ほか

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp